

科目名	聴覚障害学 I			授業の種類	講義	講師名	
授業回数	8回	時間数	15時間 (1単位)	配当学年・時期	言語聴覚士科1年	必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕							
聴覚系、聴覚障害者等の基本的な知識、聴力検査の理論と種類、検査方法や技術、臨床的意義などを理解し、聴覚障害者に対するリハビリテーションについての理解を深める。							
〔授業全体の内容の概要〕							
聴覚系、聴覚障害者等の基本的な知識、聴力検査の理論と種類、検査方法や技術、臨床的意義を学ぶ。							
〔講師の実務経験〕							
〔授業終了時の達成課題(到達目標)〕							
聴覚障害の特徴を理解し、典型的な症例について、リハビリテーションに必要な評価法、指導法を選択し、実施し、結果を評価できるようになる。							
回数	講義内容						
1	聴覚障害とは						
2	聴覚器官の構造						
3	聴覚器官の構造						
4	聴覚器官の構造						
5	聞こえのメカニズム						
6	聞こえのメカニズム						
7	聴覚障害の分類、難聴の分類						
8	成人聴覚障害臨床における言語聴覚士の役割						

【 準備学習・時間外学習 】

--

【 使用テキスト 】

書籍名	著者名	出版社
標準言語聴覚障害学 聴覚障害学 第2版		医学書院

【 単位認定の方法及び基準(試験やレポート評価基準など) 】

試験の結果を100点満点として成績を評価する。試験は定期試験のみ実施とし、60点以上の場合に科目を認定する。